

ITP パートナー機関ハサヌディン大学 (HP 用)

京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科および東南アジア研究所は、平成 13 年に、ハサヌディン大学研究機構と部局間学術交流協定を締結しましたが、それ以前から、東南アジア研究所と同大学との間には長い学術交流の歴史があります。1970 年代から同大学が位置する南スラウェシ州の生態、文化、社会に関する学術調査が多数行われ、その頃から京都大学に留学する院生も多くなりました。また、外国人客員研究員として東南アジア研究所を訪れた研究者も少なくありません。このように、京都大学とは現在に至るまで太い交流の実績があります。

ハサヌディン大学は、東部インドネシア最大の総合国立大学です。現在、14 の学部と 1 大学院プログラムとともに多数の研究センターが設置されています。これら各学部・センターの研究者との共同で、21 世紀 COE プログラムによりマカッサル・フィールドステーションが研究機構内に設置され、スラウェシに関する文献・地図等の収集拠点、ならびにスラウェシ地域研究の調査基地として活用されています。このフィールドステーションは、現在進行中のグローバル COE プログラムでも教育研究交流拠点として位置づけられ、ハサヌディン大学との協力により今後も継続して日本だけでなくスラウェシにやってくる外国人研究者にも開かれた施設として利用されることとなります。

現在進行中の ITP 事業では、すでに 2 名の博士前期課程の院生が語学研修に派遣されました。各院生の研究テーマに沿ったアドバイザーの教員が指名され、同大学の語学センターが窓口となって、個人授業によるインドネシア語研修が行われています。

京都大学卒業者リスト :

Prof Muslimin Mustafa, (agriculture)
Prof Basit Wello, (animal husbandry)
Prof D.A. Suriamihardja, (coastal engineering)
Prof Musrizal Muin, (forestry)
Prof Abdul Rahman Laiding, (animal husbandry)
Dr Agnes Rampisela, (agriculture)
Dr Alimuddin Hamzah, (coastal engineering)
Dr Amiruddin, (coastal engineering)
Dr Dody Triyuno, (fishery)
Dr Andi Amri, (mangrove environment)
Dr Muh Ramli, (civil engineering)

GSEAS 外国人研究者として受け入れた

UNHAS 教官リスト :
Prof Matuladda,
Prof Edward Poelinggomang,
Drs Willem Moka MSc,
Dr Agnes Rampisela,
Drs Dias Pradadimara, MA.